

# 大分県：「外国人材の受入れ・共生のための対応策」 を改訂（令和7年3月）

25.03.27

県と市町村の取組方針を示す「対応策」を改訂し、受入れと共生を一体で推進する枠組みを更新。就労・生活・教育・医療など関係分野を横断し、連携の場として協議会も位置付け直した。外国人雇用や日本語学習、相談体制の強化、情報発信の仕組みを整理。産業人材の確保と定着、地域コミュニティとの共生を両立させる考えを明確化。制度や社会情勢の変化を踏まえ、実務に直結する施策の継続・拡充を図る。市町村の役割や窓口の整理により、手続と相談の迷いを減らす狙い。生活者としての支援と労働者としての支援を併走させる構成とした。県・労働局・教育機関等との連携による運用を示す。更新日の明示により現行方針の確認が容易となった。今後の具体事業の基盤となる改訂である。



[https://www.pref.oita.jp/soshiki/14320/taiousa\\_kukaitei202503.html](https://www.pref.oita.jp/soshiki/14320/taiousa_kukaitei202503.html)

# 大分県：外国人（農林水産）人材 就業環境整備補助金の募集開始

25.04.09

農林水産分野での人材確保と定着を目的に、技能実習生・特定技能者等の就業環境を改善する取組を支援。初期費用やコミュニケーション促進、住環境整備など現場に即した費用を補助対象とする。対象は各種協同組合法に基づく関係団体で、商工分野の同種補助との重複は対象外。事業趣旨や申請手続、様式類がまとめられている。分野特性に即したきめ細かな支援設計が特徴。定着率向上に資する教育・生活面の支援も想定。県内の産地・漁業現場での活躍を後押しする。企業・団体の具体的な改善計画の策定を促す。年度内の募集開始を明示し、準備を後押し。産業政策との整合を図った補助メニューである。



大分県

大分県外国人農林水産業人材就業環境整備等...

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/2025gaikokujinnourinsuisangyoujinzai.html>

# 大分労働局：南日本造船で職場パトロールを実施（外国人雇用啓発月間）

25.06.03

6月の外国人雇用啓発月間に合わせ、大分市の南日本造船大在工場で職場パトロールを実施。熱中症対策や案内表示の多言語化、安全衛生の取り組みを確認したと報じられた。技能実習生など多数の外国人が働く現場を対象に、労働環境を点検。TOSオンラインは、同社でフィリピン人技能実習生らが就労している実態を紹介。大分合同新聞も同日報道し、啓発月間の一環と位置付けた。雇用主と行政の連携で、事故防止と定着支援の両立を図る狙い。現場の改善点の共有と是正の促しにつながる。県内の他事業所への普及効果も期待される。適正な雇用管理の重要性を可視化する取り組みである。企業の自主改善と官の指導を組み合わせた実地対応。



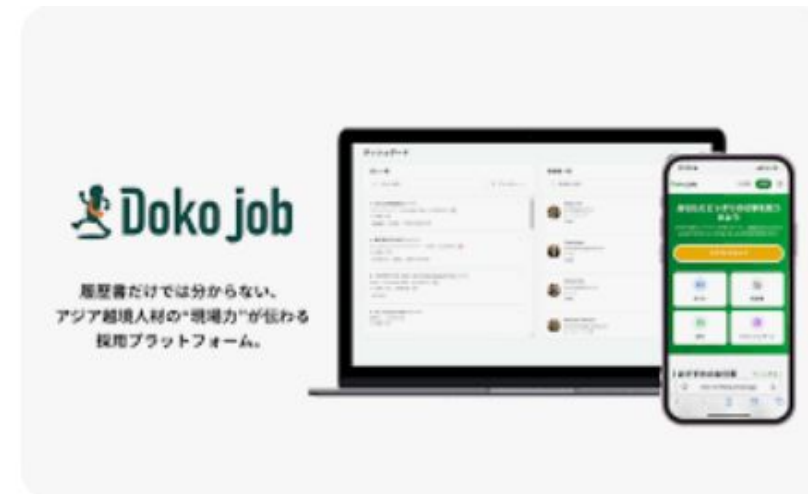
TBS NEWS DIG - TBSテレビ  
外国人労働者の職場環境を確認 大分労働局...

<https://tosonline.jp/news/20250603/00000007.html/>  
<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2025/06/03/JDC2025060302065>

# Emunitas(別府):外国人採用プラットフォーム『Dokojob』を正式リリース( PR TIMES)

25.06.27

別府市のEmunitasが、外国人採用の一体型プラットフォーム『Dokojob』を正式リリース。候補者の情報管理、求人共有、推薦進捗の更新、履歴書自動生成までをワンストップで提供。旧「Secure Talent」から名称変更し、現場の非効率や抜け漏れを減らす設計とした。リリース時点で累計22社超の導入、約7,000名の外国人人材と接続と説明。製造業やホテル・観光産業での活用を想定し、地域の人材確保を後押しする。登録支援機関・学校・企業など複数プレイヤー間の連携を容易にする仕様。県内外での横展開と機能拡張を見据えたりリリースである。利用現場の人的リソース不足に配慮し、操作性を重視。採用プロセスの可視化によりミスマッチ削減を狙う。地域発のSaaSとして注目される取り組みだ。



PR TIMES

外国人材の現場力を可視化する採用イン...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000133018.html>

# 大学コンソーシアムおおいた：留学生インターン説明会(オンライン)を案内

25.06.12

大学コンソーシアムおおいたは、企業向けの留学生インターンシップ説明会をオンラインで案内。6月12日(木)13:30からZoomで実施し、プログラムや事例、助成金等の概要を説明する。参加方法はメール申込みで、当日URLを送付する運用。留学生の受け入れ相談やマッチング支援も通年で対応する。別府や大分の会場でのフェア開催情報と併せて周知。企業側の初期疑問を解消し、受け入れのハードルを下げる狙い。国際学生の地域定着を促す取り組みの一環である。連携窓口や営業時間の案内も併記され、利便性が高い。県内企業の人材確保策としての選択肢を広げる情報。オンライン形式により参加障壁を下げている。

留学生インターンシップを受け入れてみませんか?

- ★ インターンシップのマッチング支援いたします!
- ★ 実務的課題についての相談も承ります!
- ★ インターンシップ事後には、規定により受入れ助成金をお受け取りいただけます。\*
- ★ インターンシップ実施後も外国人社員採用活動やインターンシップ有実務等、引き続きサポートいたします

【インターンシップフェア】開催

日時：7月16日(土) 13:30～

会場：オンライン開催(Zoom)※

※NPO法人 大学コンソーシアムおおいた

NPO法人 大学コンソーシアムおおいた  
(西あいた留学生ビジネスセンター)

<https://www.ucon-oita.jp/topics/detail/193>

# OBS/TBS NEWS DIG: 県内在留外国人が約 2万人で過去最多に(技能実習・特定技能が増加)

25.03.04

OBSは、県内在留外国人が約2万人で過去最多を更新したと報道。県のまとめでは2024年12月末時点で1万9,860人、半年前から増加した。背景として技能実習生や特定技能の労働者の増加を挙げる。産業の人手不足と連動し、受け入れ基盤の整備が急務である。教育・生活支援と雇用の両面で対応が求められる。地域の多文化共生の動きとも関連が深い。統計の継続的公表により施策立案がしやすくなる。雇用・住まい・日本語教育の需要増が見込まれる。官民連携の支援パッケージの有効性が問われる局面。データをもとにした現場改善が鍵となる。



 TBS NEWS DIG

県内在留の外国人は2万人で過去最多を...


<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/obs/1765676>

# OBS/TBS NEWS DIG: 技能実習生向け 豊後高田市のバスツアーを実施

25.03.23

豊後高田市で暮らす外国人技能実習生を対象に、市内名所を巡るバスツアーが実施された。日本文化への理解と地域の魅力発見を促す取り組みで、交流の機会を提供。実習生の生活満足度向上と定着につながる効果が期待される。主催者は観光資源と多文化交流を結び、地域の受け入れ力を高めるねらい。移動中や施設見学で、地域住民との接点も生まれた。制度的支援に加え、ソフト面の支えを重視する活動である。ニュースは映像とともに現場の様子を伝えた。季節の行事と連動し、継続企画化が見込まれる。就労現場外での関係づくりはトラブル予防にも資する。地域ぐるみの定着支援の一例として紹介された。



 豊後高田市

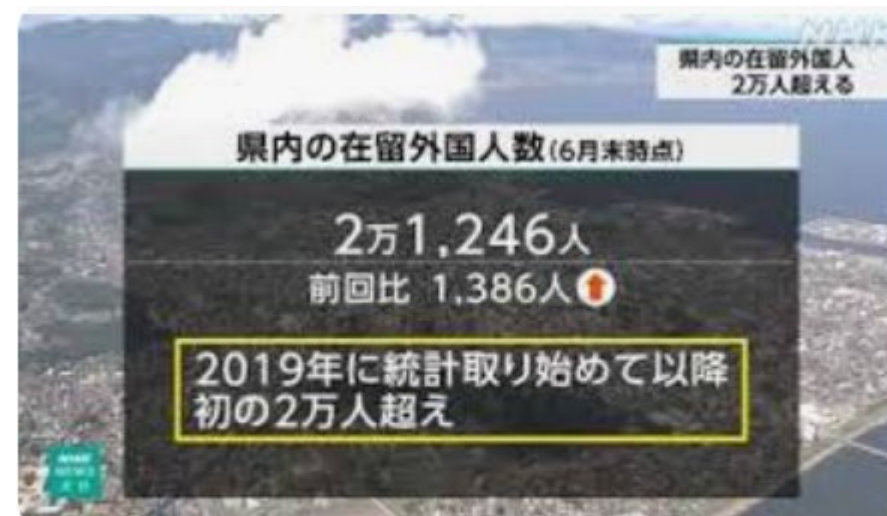
市内の観光スポットを巡る～技能実習生...

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/obs/1806636>

# 大分県内の在留外国人、初の2万人突破 特定技能の伸びが大きく 大学などの留学生増も押し上げ

2025.10.04

大分県内の在留外国人数が初の2万人を突破しました。人手不足を背景とした「特定技能」資格での労働者増加に加え、APU（立命館アジア太平洋大学）などの留学生増加が大幅に全体数を押し上げています。特に人口あたりの留学生数は全国有数の水準で、県内企業への定着・就職支援も強化されています。約3,300人（2024年5月時点）の留学生がおり、人口10万人あたりの留学生数は全国3位、留学生の8割以上が別府市のAPUに集中しており、県の国際化を牽引している。製造業、医療、観光など多岐にわたる産業で需要が高く、特定技能など専門的・技術的な分野の受け入れが進んでいる。



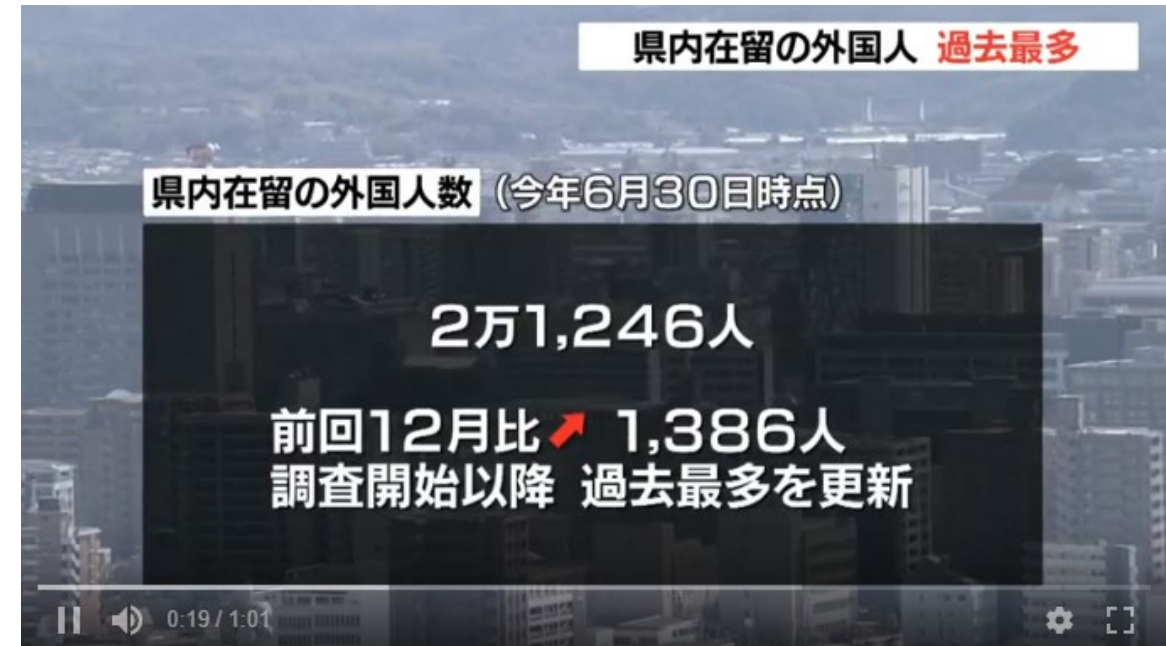
NHKニュース - NHK ONE

大分県内の在留外国人初の2万人超 特定...

# 在留外国人数2万1000人超で過去最多 ベトナム最多、 技能実習・特定技能が4割占める 大分

2025.08.29

大分県内に在留する外国人の数は、今年6月末時点で2万1246人となり、過去最多を更新しました。県は毎年、6月末と12月末の年2回、県内在留外国人数の調査を行っています。今回の調査によりますと、今年6月30日時点の在留外国人数は2万1246人で、前回、去年の12月から1386人増え、過去最多を更新しました。国籍・地域別では、ベトナムが最も多く3693人、次いでインドネシア、ミャンマーなどと続いています。市町村別では、別府市が最も多く、大分市、中津市が続きます。また、在留資格別では「技能実習」と「特定技能」の労働者が全体の約4割を占め、いずれも前回調査から増加しています。



# 佐伯市に日本語学校が開校 1期生11人が入学、ミャンマーからの留学生「夢を実現できるように努力」

2025.10.03

文部科学省が認定した県内初の日本語教育機関となる佐伯民際日本語学校の開校式と入学式が2日、佐伯市蟹田の同校であった。アジアを中心とした留学生が地域と交流しながら学びを深める。19～29歳の1期生11人が入学した。開校式には県、市、商工団体、学校関係者ら約40人が出席。上田直紀理事長が「教育が地域社会の活力となり、地域社会が教育を支える好循環を期待する。地域とともに歩む学校づくりを推進する」とあいさつ。富高国子市長が祝辞を述べ、住田伸夫校長と3人でテープカットをした。



ミャンマーからの留学生が入学 = 2日午前、佐伯市蟹田の佐伯民際日本語学校

# 立命館アジア太平洋大学 × 日清医療食品 国内留学生に 向けた就労意識形成の産学連携

2025.11.11



日清医療食品株式会社(代表取締役社長：立林 勝美／以下、日清医療食品)は、国内留学生への就労意識を形成および海外人財への知見を深めることを目的とし、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学国際経営学部において、授業を行いました。